

令和2年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	6. 美術館収蔵作品展事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	6. 美術館費	担当所属	美術館

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	
経常	単独	計画	0	0	1,081	第4章 基本施策6 施策1	明日へつながるまちづくり	-
							芸術・文化の振興	-
							芸術・文化とのふれあいの場を提供します	-
								-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		1,132

財源内訳							一般財源
本年度当初要求額							0
本年度当初査定額							1,132

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 収蔵作品を中心とした郷土ゆかりの作家展を開催し、市民が気軽に足を向けられる作品公開の場を提供します。 【令和3年度】収蔵作品を中心とした郷土ゆかりの作家展を開催し、市民が気軽に足を向けられる作品公開の場を提供します。 【令和4年度】収蔵作品を中心とした郷土ゆかりの作家展を開催し、市民が気軽に足を向けられる作品公開の場を提供します。</p>	<p>(事業の目的) 収蔵作品を中心とした郷土ゆかりの作家展を開催し、郷土ゆかりの作家がどのように創作活動を展開し、美術史の中でどのような役割を果たしてきたのかを周知します。</p>	<p>(事業の効果) 郷土ゆかりの作家の紹介により、佐倉・房総の郷土への関心を高め心豊かな市民生活の営みに寄与するとともに、来館者数の増加を図ります。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 常設展がないため、収蔵作品展を常設展として位置づけて展示をしています。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 市民の財産としてのコレクション公開に際しては、分かりやすくテーマ性を持たせるなど、様々な切り口でご覧いただけるように工夫してまいります。 展示替えのタイミングを調整することで、年度内の収蔵作品展の回数を減らすことなく、看板やチラシの製作などの回数を減らしました。</p>	<p>(見直しについての特記事項) 美術館が収蔵する佐倉・房総ゆかりの作家の作品を展示・紹介することにより、佐倉の美術の普及と継承を行います。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
10	360	320	40
11	57	84	△27
12	715	764	△49

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
							差引一般財源	0	1,132	0	1,132